

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-05-01	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	地域図書館施設の管理	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬		
		担当者名	黄幡	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-01-01	管理費					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 元年度 <input type="radio"/> 30年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和 25 年度	根拠	建築基準法等				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な維持管理により施設の長寿命化を図るとともに、安全面での利用者サービスの充実を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	区立図書館（4館）とサービスステーション（2カ所）の保守及び維持管理業務 ・南千住図書館：南千住6-63-1／敷地面積2,723.96㎡／延床面積2,686.10㎡（建物合計5,270.69㎡） ・尾久図書館：西尾久3-12-12／敷地面積1,328.94㎡／延床面積1,201.82㎡ ・町屋図書館：町屋5-11-18／都営住宅敷地内／延床面積1,045.44㎡ ・日暮里図書館：東日暮里6-38-4／敷地面積893.92㎡／延床面積1,369.66㎡ ・汐入図書サービスステーション：南千住8-12-5-109・113・114／延床面積124.07㎡ ・冠新道図書サービスステーション：西日暮里6-25-14／延床面積181.44㎡						
経過	・昭和37年 3月 荒川図書館開館、昭和46年 9月 尾久図書館開館、昭和48年 4月 旧南千住図書館開館、昭和51年10月 町屋図書館開館、昭和54年 6月 日暮里図書館開館 ・平成 4年 7月 全館で日曜開館・月曜休館実施 ・平成10年 5月 現南千住図書館開館。南千住図書館で祝日開館実施 ・平成16年 9月 地域館の機械警備を実施 ・平成17年 4月 全館で祝日開館実施。南千住図書館の土曜開館時間を19時半まで延長 ・平成19年 9月 汐入サービスステーションを開設（平成22年12月児童拡張、平成25年10月配架拡充） ・平成21年11月 冠新道サービスステーションを開設 ・平成25年 4月 地域館に夜間警備員を配置、翌3月 地域館に防犯カメラを設置 ・平成28年12月 荒川図書館廃止 ・平成29年10月～平成30年4月 日暮里図書館大規模改修						
必要性	図書館全体に係る保守・維持管理業務であり、図書館サービスを提供するうえで不可欠である。						
実施方法	（3委託） （直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 専門知識の有する事業者に保守点検、維持管理業務等を委託し実施している。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
元年度	2年度						
継続	継続	図書館の管理運営にかかる事業であり、効率的な維持管理業務の執行に努め、継続して実施する。					

予算・決算額等の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
予算額		65,168	64,042	80,333	85,525	71,709	73,482	76,519		
決算額（元年度は見込み）		62,204	62,892	75,052	73,981	63,644	69,010	76,519		
実績の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度		
事項名（元年度は見込み）										
光熱水費（千円）		29,101	31,108	29,594	25,837	21,495	23,068	25,340		
保守管理委託費（千円）		29,232	27,806	25,026	29,853	25,197	27,850	33,341		
予算・決算の内訳		平成29年度（決算）		平成30年度（決算）		令和元年度（予算）				
節	主な事項	金額（千円）		節	主な事項	金額（千円）				
需用費	電気・ガス・水道等	21,593		需用費	電気・ガス・水道等	23,068		需用費	電気・ガス・水道等	25,340
役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	2,956		役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	4,091		役務費	電話料・地域館受水槽清掃等	3,417
委託料	各館設備保守業務委託	25,197		委託料	各館設備保守業務委託	27,850		委託料	各館設備保守業務委託	33,341
使用料等	SS賃借料	13,898		使用料等	SS賃借料	13,386		使用料等	SS賃借料等	14,155

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	10,757	10,190	▲ 567	地方税	0	0	0	
	物件費	63,644	69,010	5,366	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	149	149	
	減価償却費	41,941	50,500	8,559	その他	1,479	1,520	41	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	1,479	1,669	190	
	賞与・退職給与引当金繰入額	555	513	▲ 42	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 115,418	▲ 128,544	▲ 13,126	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	▲ 1,414	▲ 1,414	
	行政費用合計(b)	116,897	130,213	13,316	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 115,418	▲ 129,958	▲ 14,540	
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0		
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 115,418	▲ 129,958	▲ 14,540		

備考 行政費用のうち、平成29年度は日暮里図書館の休館を伴う改修により光熱水費、委託料等の物件費が減少していたが、平成30年度にリニューアルオープンしたので物件費が増加した。また、同館の改修工事を行ったことで減価償却費が増加した。

- 問題点・課題
- ・利用者にとって安心・安全な施設の運営を実施する。
  - ・快適な環境づくりを図るとともに、設備の適正な維持管理を行う。

## 問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	保守点検を実施し、利用者にとって安心・安全で快適な施設運営と設備の適正な維持管理を行う。	設備の保守点検を行い、安全で快適な利用環境の整備に努めた。	引き続き、定期的に保守点検を実施して利用者の安全・安心で快適な施設運営を実施する。
②			
③			
他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)		
況(要旨)	平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について 平成29年度9月 日暮里図書館の大規模改修の内容について 今後の図書館改修について		

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-05-02	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事		
事務事業名	特色ある地域図書館の推進	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬			
		担当者名	寺内	内線	436			
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-02-02	図書館資料費						
	01-02-03	読書活動推進事業費						
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input checked="" type="radio"/> 元年度 <input type="radio"/> 30年度）		<input type="radio"/> 建設事業	<input type="radio"/> それ以外の継続事業				
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	29年度	根拠	荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方、荒川区立図書館資料収集要綱				
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等					
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内	<input type="radio"/> 都基準内	<input type="radio"/> 区独自基準	計画区分	<input type="radio"/> 計画	<input checked="" type="radio"/> 非計画		
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市					
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成					
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進					
目的	館ごとに地域の特色を踏まえた資料収集を充実し、読書の楽しみを味わうことと併せ、生涯学習の支援と生活に役立つ図書館を目指すとともに、地域交流の輪をさらに広げる拠点となることを目的とする。							
対象者等	図書館利用者							
内容	<p>【特色ある蔵書】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>荒川区立図書館資料収集要綱及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方に基づき、生涯にわたる読書活動を推進するため、地域特性や多様化・高度化するニーズを的確に把握し、積極的に資料を収集し情報を提供する。</li> </ul> <p>【新たな事業展開】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発信とアウトリーチ：出張おはなし会等の開催、街なか図書館の整備等</li> <li>心地よい居場所づくり：多様な閲覧席の整備、子どもから高齢者までの居場所づくり等</li> <li>区民参加の促進：図書館ボランティアの育成、専門家によるイベントやワークショップの実施等</li> </ul> <p>【各館の特色】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>南千住：松尾芭蕉関連コーナー、ふるさと文化館との連携事業</li> <li>尾久：大人向け事業の実施</li> <li>町屋：保育園・中学校との連携事業</li> <li>日暮里：日暮里繊維街や日本語学校等地域との連携事業</li> </ul>							
経過	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年4月 地域図書館課設置</li> <li>平成30年5月 「読書を愛するまち・あらかわ」宣言を発表</li> <li>平成30年6月 街なか図書館設置開始</li> <li>平成30年10月 「読書を愛するまち・あらかわ」の取組がプラチナ大賞・次世代育成賞を受賞</li> </ul>							
必要性	読書を愛するまち・あらかわをさらに展開していくために必要な事業である。							
実施方法	( 1直営 ) ( 直営の場合 <input checked="" type="radio"/> 常勤 <input checked="" type="radio"/> 非常勤 <input checked="" type="radio"/> 臨時職員 )							
指  標	事務事業の成果とする指標名		指標の推移				指標に関する説明	
			28年度	29年度	30年度	元年度見込み		目標値(8年度)
	①	入館者数	1,196,773	869,287	935,673	1,005,000	1,080,000	地域図書館の入館者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
	②	おはなし会・おたのしみ会の参加者数	5,188	3,234	4,094	5,150	6,000	地域図書館のおはなし会参加者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）
③	個人登録者数	61,538	60,073	65,365	71,200	91,000	地域図書館の個人登録者数の総計（ゆいの森あらかわ除く）	
事務事業の分類		分類についての説明・意見等						
元年度	2年度							
重点的に推進	重点的に推進	地域図書館の魅力をさらに発揮できるよう、各館の利用者や地域の特性を踏まえた資料収集や地域に根差した取組を実施する。						

予算・決算額等の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額	75,335	75,147	77,158	75,067	72,340	60,308	62,406
決算額（元年度は見込み）	73,774	74,692	75,849	71,366	68,794	59,149	62,406
実績の推移	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名（元年度は見込み）							
図書雑誌蔵書冊数(冊)*地域館分	769,836	766,826	722,573	542,975	524,779	535,327	600,000
個人総貸出点数(点)*地域館分	1,910,884	1,882,661	1,904,021	1,465,239	1,290,495	1,323,888	1,357,000
事業の実施回数(回)*地域館分	—	—	—	—	307	325	330
入館者数(人)*地域館分	1,251,384	1,288,224	1,271,337	1,196,773	869,287	935,673	1,005,000

予算・決算の内訳								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
需用費	資料、消耗品等	58,907	需用費	資料、消耗品等	57,223	需用費	資料、消耗品等	58,883
委託料	図書装備等	9,627	委託料	街なか図書館看板等	428	委託料	16ミリフィルムデジタル化等	2,723
報償費	謝礼	255	備品購入費	街なか図書館ブックワゴン	1,260	備品購入費	街なか図書館ブックワゴン等	420
食糧費	賄い	5	報償費	謝礼	238	報償費	謝礼	380

行政コスト計算書	勘定科目			行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額		29年度	30年度	差額	
行政費用	給与関係費	43,884	35,910	▲ 7,974	地方税	0	0	0
	物件費	68,539	58,911	▲ 9,628	国庫支出金	0	0	0
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0
	補助費等	255	238	▲ 17	使用料及び手数料	0	0	0
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0
	賞与・退職給与引当金繰入額	2,263	1,807	▲ 456	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 114,941	▲ 96,866	18,075
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0
	行政費用合計(b)	114,941	96,866	▲ 18,075	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 114,941	▲ 96,866	18,075
特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 114,941	▲ 96,866	18,075	

備考 行政費用において、物件費が減少しているのは平成30年度図書装備委託等をゆいの森課に移管したためである。

問題点・課題  
 ・「荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方」の「地域に根ざした特色ある蔵書づくり」に基づき、各館の分担収集を進め、区民の知的好奇心を満たす新鮮で魅力ある書架構成を行うには、図書館職員の選書能力の向上及び図書情報や社会情勢に対する研鑽により専門性を高めることが必要である。  
 ・各館の利用者像や地域の特色を踏まえた資料収集や独自の取組を実施し、地域図書館の魅力をさらに発揮できるような事業展開、情報発信に取り組んでいく。

問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	図書館職員の能力向上のための研修を実施することで、図書館職員の専門性を高める。	レファレンスサービス向上のための研修を実施し、図書館職員の資質向上を図った。	研修を継続的に実施するとともに都立図書館等の研修にも積極的に参加し、図書館職員のスキルアップを図る。
②	改修後の日暮里図書館をはじめとして、各地域図書館においても、特色あるコーナーの更なる充実を図る。	日暮里図書館は吉村昭ギャラリーやコミュニティルームを新設し、他館でも特色あるコーナーやイベントを実施した。	引き続き、地域の特色を踏まえた資料収集や独自の取組を強化していく。
③	平成30年度に15か所程度の街なか図書館の開設を目指し、更なる施設数の拡充に向けて引き続き検討を行う。	区施設を中心に、街なか図書館を20箇所開設した。	民間施設も含めて街なか図書館の更なる整備を目指すとともに、引き続き読書環境の整備を図っていく。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全館直営で実施しているのは荒川区のみ

議会(要旨)質問状	平成29年度11月 読書のまち宣言について 平成30年度11月 読書を愛するまちの取り組みの推進について 平成30年度決特 図書館ホームページの充実について 平成30年度予特 駅前図書返却ポストの進捗状況について 平成30年度予特 読書を愛するまち・あらかわの条例化について
-----------	---

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-05-03		戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input checked="" type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事
事務事業名	図書館施設の改修		部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬	
			担当者名	増田、黄幡	内線	436	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-03-01	営繕費（一般分）					
	01-03-02	営繕費（施設改修分）					
事務事業の種類	<input type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 元年度 <input type="radio"/> 30年度）		<input type="radio"/> 建設事業		<input checked="" type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input checked="" type="radio"/> 昭和 <input type="radio"/> 平成	令和 37 年度	根拠	荒川区公共建築物中長期改修実施計画			
終期設定	<input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	年度	法令等	荒川区公共施設等総合管理計画			
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画		<input checked="" type="radio"/> 非計画	
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	図書館施設の適切な修繕、改修を行い、施設の長寿命化を図ると共に、安全面での利用者サービスの向上を図る。						
対象者等	図書館利用者						
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 設備更新や大規模改修については利用者の利便性及び老朽化の程度、緊急性等を勘案し、施設の機能・性能の保全に努めながら計画的に実施する。</li> <li>・ 小破修繕については不具合の状況に合わせ、必要な修繕を各館ごとに実施している。</li> </ul>						
経過	<p>主な図書館施設の施設改修工事</p> <p>【平成28年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南千住図書館 非常用放送設備修繕 3,422,500円</li> <li>・ 尾久図書館 防火シャッター修繕 3,002,400円</li> <li>・ 町屋図書館 外壁・トイレ改修工事 34,586,558円</li> <li>・ 日暮里図書館 外壁改修工事 16,183,486円</li> </ul> <p>【平成29年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南千住図書館 中央監視装置交換 4,860,000円</li> <li>・ 日暮里図書館 空調設備・壁・床・天井等改修 197,638,887円</li> </ul> <p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 南千住図書館 受変電設備改修工事 5,459,400円</li> </ul>						
必要性	建物の老朽化が進む中で、施設を維持するためには不可欠な経費である。						
実施方法	（ 3委託 ） （ 直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員 ） 工事は営繕課に執行委任するが、小規模修繕については所管課で対応する。						
指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
元年度	2年度						
推進	推進	魅力ある地域の図書館の実現に向け、区の中長期改修計画及び荒川区立図書館の運営に関する基本的な考え方を踏まえ推進していく。					

予算・決算額等の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額		23,168	22,425	4,320	106,276	210,657	23,061	15,348
決算額（元年度は見込み）		21,504	20,748	4,320	71,040	209,632	8,801	15,348
実績の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名（元年度は見込み）								
全館改修工事件数(件)		3	1	1	3	2	1	2
地域図書館修繕件数(件)		61	62	62	61	27	34	37
予算・決算の内訳								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)	節	主な事項	金額(千円)
家屋等修繕費	中央監視装置交換	4,860	工事請負費	受変電設備改修工事	5,459	家屋等修繕費	照明器具入替修繕	6,236
委託料	日暮里空調設備等改修工事設計委託	11,340						
工事請負費	空調設備等改修工事	186,299						

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
行政費用	給与関係費	6,915	11,224	4,309	地方税	0	0	0	
	物件費	0	0	0	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	11,993	8,801	▲ 3,192	都支出金	3,047	0	▲ 3,047	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	0	0	0	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	3,047	0	▲ 3,047	
	賞与・退職給与引当金繰入額	357	565	208	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 16,218	▲ 20,590	▲ 4,372	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	19,265	20,590	1,325	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 16,218	▲ 20,590	▲ 4,372	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 16,218	▲ 20,590	▲ 4,372		

備考 行政費用については、給与関係費と維持補修費が多くなっている。平成30年度の維持補修費の主な内容は、南千住図書館受変電設備工事5,459千円である。行政収入では、日暮里図書館のトイレ洋式化のため、平成29年度にユニバーサルデザインのまちづくり緊急推進事業補助金の交付を東京都より受けた。

問題点・課題  
 ・施設設備の老朽化が進んでいるため、施設を適切に維持し、安全性を確保するため効果的な補修や改修が不可欠になっている。  
 ・南千住図書館の利用者ニーズや施設の老朽化の現状を把握し改修計画を検討するとともに、荒川ふるさと文化館との共同取組を実施するスペースの拡充を検討していく必要がある。  
 ・町屋図書館は老朽化しているが、東京都から行政財産の使用許可を受けている施設であり、東京都の都営住宅の建替えの動向を注視する必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	日々の施設運営を行っていく上で、設備の保守点検を実施し、緊急性を判断して修繕を適切に行っていく。	設備の保守点検を行い、適宜修繕を実施して安全で快適な利用環境の整備に努めた。	定期的に点検を実施して適切な修繕や補修を計画的に行い、利用者の安全・安心を確保する。
②	南千住図書館の受変電設備改修工事を実施する。また、日暮里図書館の大規模改修工事を完了させる。	南千住図書館の受変電設備工事を行った。また、日暮里図書館の大規模改修が完了し、4月21日にリニューアルオープンした。	大規模改修を含めた施設の管理・運営について、ふるさと文化館と共同で検討を進める。
③	町屋図書館の今後のあり方や備品等の更新を検討する。	町屋図書館の椅子等の備品を更新した。また、町屋図書館の照明改修の検討に着手した。	町屋図書館の照明改修工事を実施し、全面LED化することで快適な利用環境を整える。

他区の実況	(実施 22 区 未実施 0 区 不明 0 区)
	全区で実施
議会(要旨)質問状	平成29年度予特 町屋図書館の今後の建替え予定について 日暮里図書館の大規模改修の内容について 平成29年度9月 今後の図書館改修について

# 事務事業分析シート（令和元年度）

No1

事務事業コード	05-05-04	戦略プラン	<input type="radio"/> 協働	<input type="radio"/> 業務	<input type="radio"/> 財務	<input type="radio"/> 人事	
事務事業名	新尾久図書館の整備	部課名	地域文化スポーツ部地域図書館課	課長名	成瀬		
		担当者名	村上	内線	436		
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（元年度）	01-01-01	新尾久図書館整備事業費					
事務事業の種類	<input checked="" type="radio"/> 新規事業（ <input type="radio"/> 元年度 <input checked="" type="radio"/> 30年度）		<input checked="" type="radio"/> 建設事業		<input type="radio"/> それ以外の継続事業		
開始年度	<input type="radio"/> 昭和 <input checked="" type="radio"/> 平成 <input type="radio"/> 令和	28年度	根拠				
終期設定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無	32年度	法令等				
実施基準	<input type="radio"/> 法令基準内 <input type="radio"/> 都基準内 <input checked="" type="radio"/> 区独自基準		計画区分	<input type="radio"/> 計画 <input checked="" type="radio"/> 非計画			
行政評価事業体系	分野	V	文化創造都市				
	政策	10	活力ある地域コミュニティの形成				
	施策	03	「読書のまちづくり」の推進				
目的	現在の尾久図書館は開設から40年以上経過し、老朽化が著しいため、宮前公園内に新たに整備する。整備に当たっては、地域の図書館としての魅力がさらに高まるよう、従来のハード面、ソフト面のサービスに加え今後の図書館に必要な機能を兼ね備えた施設になるよう検討し、地域の区民や、宮前公園の利用者に親しまれ、地域のシンボリックな施設になるようにする。						
対象者等	図書館利用者						
内容	【（仮称）新尾久図書館のコンセプト】 ①宮前公園内につくる地域の区民が日常的に利用できる身近な図書館 飲食コーナー、バリアフリー、安全性確保 ②地域における生涯学習活動の拠点 地域に関する資料、荒川区や地域にゆかりのある文学作品・文化芸術 ③地域内の小・中学校、幼稚園、保育園、ひろば館、ふれあい館、高齢者施設等との連携、交流の拠点 子どもから高齢者まであらゆる区民の方が読書に親しめる機会の提供、ネットワークの充実 ④地域交流や情報収集・発信の拠点 区役所各部署と連携した取組の提供、図書館ボランティアをはじめとする地域活動拠点						
経過	・平成28年度 基本設計 測量、地盤調査 ・平成29年度 実施設計 ・平成30年度 実施設計・建設工事着手 ・平成31年度 建設工事						
必要性	地域の活動・情報発信・交流の拠点として、地域に根差した図書館サービスの更なる充実のため必要な事業である。						
実施方法	（3委託）（直営の場合 <input type="radio"/> 常勤 <input type="radio"/> 非常勤 <input type="radio"/> 臨時職員） 引き続き、建設工事を進める。						
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		28年度	29年度	30年度	元年度見込み	目標値(8年度)	
	①						
	②						
③							
事務事業の分類		分類についての説明・意見等					
元年度	2年度						
重点的に推進	重点的に推進	現在の尾久図書館の老朽化に伴い、地域のシンボリックな建物になるよう宮前公園内に新たに整備する事業であるため、重点的に推進する。					

予算・決算額等の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
予算額				-	40,250	15,956	577,301	221,380
決算額（元年度は見込み）				-	37,624	15,826	556,929	221,380
実績の推移		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
事項名（元年度は見込み）								
入館者数（人）	尾久	150,545	154,787	157,499	166,483	141,480	135,161	145,300
総個人貸出点数（点）	尾久	265,940	266,202	273,046	256,878	234,213	221,258	234,500
予算・決算の内訳								
平成29年度（決算）			平成30年度（決算）			令和元年度（予算）		
節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）	節	主な事項	金額（千円）
報償費	アドバイザー謝礼	26	報償費	アドバイザー謝礼	156	報償費	アドバイザー謝礼等	414
委託料	実施設計	15,800	旅費	工場検査旅費	0	旅費	工場検査旅費	164
			需用費	消耗品等	15	需用費	図書購入費等	21,252
			委託料	実施設計等	47,358	委託料	図書装備委託	3,547
			工事請負費	建設工事等	509,400	工事請負費	建設工事	196,000

(単位：千円)

行政コスト計算書	勘定科目				行政収入	勘定科目			
	29年度	30年度	差額	29年度		30年度	差額		
	給与関係費	2,305	5,612	3,307	地方税	0	0	0	
	物件費	0	15	15	国庫支出金	0	0	0	
	維持補修費	0	0	0	都支出金	0	0	0	
	扶助費	0	0	0	分担金及び負担金	0	0	0	
	補助費等	26	156	130	使用料及び手数料	0	0	0	
	減価償却費	0	0	0	その他	0	0	0	
	不納欠損・貸倒引当金繰入額	0	0	0	行政収入合計(a)	0	0	0	
	賞与・退職給与引当金繰入額	119	282	163	行政収支差額(a)-(b)=(c)	▲ 2,450	▲ 6,065	▲ 3,615	
	その他行政費用	0	0	0	金融収支差額(d)	0	0	0	
	行政費用合計(b)	2,450	6,065	3,615	通常収支差額(c)+(d)=(e)	▲ 2,450	▲ 6,065	▲ 3,615	
	特別費用(g)	0	0	0	特別収入(f)	0	0	0	
	特別収支差額(f)-(g)=(h)	0	0	0	当期収支差額(e)+(h)	▲ 2,450	▲ 6,065	▲ 3,615	

備考

行政費用のうち、新尾久図書館開館にむけた業務量の増加により平成30年度の給与関係費が増えている。また、補助費は新尾久図書館整備アドバイザーへのヒアリング実施に係る謝礼である。

問題点・課題

・今後の地域図書館で充実すべき具体的機能を備え、地域に根差した新しい事業展開が実施できるよう、開館に向けてソフト面の充実を検討していく必要がある。  
・公園内に立地するという特性を活かした事業を検討していく必要がある。

## 問題点・課題の改善策

	平成30年度に取り組む具体的な改善内容	平成30年度に実施した改善内容および評価	令和元年度以降に取り組む具体的な改善内容
①	具体的機能 ・実施設計を完了し、建設工事を開始する。	具体的機能 ・工事費見直しに伴い、最低限の機能を維持しつつ仕様を再検討した上で、建設工事に着手した。	具体的機能 ・建設工事を進めるとともに、区民等へ丁寧に説明を行う。
②	事業展開 ・各関係者、福祉団体、区民、学識経験者、商業団体等からヒアリングを引き続き実施する。	事業展開 ・学識経験者や区民の意見を設計に反映した。	事業展開 ・公園内立地を活かしたイベント等の企画のほか、開館に向けた機運の醸成や周知を図る。
③	運営体制やサービス ・機能、運用方法、資料購入、移転計画等について引き続き検討する。	運営体制やサービス ・開館に向けた人員体制を整え、運用方法や資料購入等の具体的計画を検討した。	運営体制やサービス ・開館日を決定し、建物竣工から開館準備までの具体的な計画を策定する。

他区の実況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
議会(要旨)質問状	平成29年度4月 文教子育て支援委員会 宮前公園内新尾久図書館の基本設計について